



令和8年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和7年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 モリ工業株式会社

コード番号 5464

URL <https://www.mory.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 宏明

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理部長 (氏名) 河野 博光 TEL 06(6635)0201

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和8年3月期第1四半期の連結業績(令和7年4月1日～令和7年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年3月期第1四半期	10,966	△4.2	1,082	△23.3	1,245	△20.5	860	△20.8
7年3月期第1四半期	11,446	△5.0	1,410	△5.2	1,565	△9.8	1,086	△11.5

(注) 包括利益 8年3月期第1四半期 849百万円(△32.3%) 7年3月期第1四半期 1,255百万円(△25.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
8年3月期第1四半期	22.67	—
7年3月期第1四半期	27.98	—

(注) 当社は、令和7年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
8年3月期第1四半期	70,029	55,432	79.1	1,458.42
7年3月期	69,842	55,572	79.5	1,462.20

(参考) 自己資本 8年3月期第1四半期 55,375百万円 7年3月期 55,514百万円

(注) 当社は、令和7年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年3月期	—	80.00	—	130.00	210.00
8年3月期	—	—	—	—	—
8年3月期(予想)	—	16.00	—	20.00	36.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、令和7年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っています。令和7年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しています。令和8年3月期(予想)については、株式分割後の内容を記載しています。

3. 令和8年3月期の連結業績予想(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	22,300	△2.3	2,200	△21.7	2,300	△22.2	1,600	△23.1
通期	45,800	△0.7	4,600	△14.8	4,800	△16.1	3,400	△17.6

(注) 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、令和7年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っています。令和8年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

8年3月期1Q	38,831,900株	7年3月期	38,831,900株
8年3月期1Q	862,245株	7年3月期	865,275株
8年3月期1Q	37,967,382株	7年3月期1Q	38,816,115株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 当社は、令和7年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 当社は役員報酬BIP信託を導入しております。信託が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。また、当該信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
＜参考資料＞	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、エネルギー価格や物流・人件費の上昇、物価高に伴う家計負担の拡大といった要因により、消費者マインドや企業活動の先行きには引き続き慎重な見方が求められる状況となっております。

海外におきましては、ウクライナ及び中東における紛争が長期化する中、米国をはじめとする主要国による保護主義的な通商政策の動向など、企業経営に影響を及ぼす外部環境は一段と複雑さを増しております。

当社グループが所属していますステンレス業界では、建築業界での人手不足や人件費高騰の影響を受け、建築案件が大幅に減少し、鋼材需要が低迷しております。また、安価な輸入材の流入や足元のニッケル相場下落による買い控え等の動きもあり、本格的な荷動きの回復までには至っておりません。

このような状況下におきまして、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は109億66百万円（前年同四半期比4.2%減）となりました。前年同四半期に比べ販売数量の減少により、売上高は減少しております。また収益面におきましては、人件費や運送費の増加等により、営業利益は10億82百万円（前年同四半期比23.3%減）、経常利益は12億45百万円（前年同四半期比20.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、8億60百万円（前年同四半期比20.8%減）となりました。

各セグメントの状況は次のとおりです。

(日本)

日本事業の売上高は105億53百万円（前年同四半期比3.4%減）、セグメント営業利益は10億86百万円（前年同四半期比21.8%減）となりました。製品部門別の売上高は以下のとおりです。

ステンレス管部門は、前年同四半期と比べて配管用は販売数量は減少しましたが、自動車用は販売数量が増加したため、売上高はほぼ横ばいの62億30百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。

ステンレス条鋼部門は、前年同四半期と比べて販売数量が大幅に減少したことにより、売上高は24億81百万円（前年同四半期比9.3%減）となりました。

ステンレス加工品部門は、給湯器用フレキ管の販売が回復し、売上高はほぼ横ばいの2億70百万円（前年同四半期比0.2%増）となりました。

鋼管部門は、前年同四半期と比べて販売数量はほぼ横ばいでしたが、製品価格が下落したため、売上高は13億90百万円（前年同四半期比6.2%減）となりました。

機械部門は、前年同四半期に比べ取引先が設備投資に慎重になったため販売台数が伸び悩み、売上高は1億80百万円（前年同四半期比3.8%減）となりました。

(インドネシア)

インドネシア事業は、二輪完成車の販売市況は好調に推移しましたが、二輪用は客先の一部が内製化を開始したため、販売数量が減少しました。四輪完成車の販売市況は内需の冷え込みによる購買力の低下やローン審査の厳格化等により低迷したため、四輪用の販売数量は大幅に減少し、売上高は4億13百万円（前年同四半期比21.6%減）となりました。販売数量の大幅な減少と販売価格の下落が影響し、セグメント営業損益は4百万円の損失（前年同四半期は21百万円の利益）となりました。

(セグメント・製品部門別売上高比較表)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)		前連結会計年度 (自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)	
区分	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
日本						
ステンレス管	6,243	54.5	6,230	56.8	25,557	55.4
ステンレス条鋼	2,736	23.9	2,481	22.6	11,122	24.1
ステンレス加工品	270	2.4	270	2.5	1,004	2.2
鋼管	1,481	13.0	1,390	12.7	5,677	12.3
機械	187	1.6	180	1.6	680	1.5
インドネシア	526	4.6	413	3.8	2,099	4.5
合計	11,446	100.0	10,966	100.0	46,141	100.0

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は700億29百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億87百万円増加いたしました。総資産の増減の主なものは、現金及び預金の減少7億9百万円、有形固定資産その他(純額)の増加6億75百万円、投資その他の資産の増加5億48百万円などであります。負債は145億97百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億28百万円増加いたしました。負債の増減の主なものは、未払法人税等の減少4億63百万円、流動負債(その他)の増加11億35百万円などであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は554億32百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億40百万円減少いたしました。これは、利益剰余金が1億32百万円減少したことなどによるものであります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.4ポイント低下し、79.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、令和7年5月9日の決算短信で公表いたしました業績予想から変更はありません。

当社グループの業績に直接的又は間接的に影響する主な要因のうち、当社グループの事業と密接に関連する重要なものとしてステンレス鋼の市況があります。ステンレス鋼の市況は需給バランスだけでなく、ステンレスの主原料であるニッケル市況の影響を強く受けています。これらはいずれも的確に予測できるものではなく、また、予測どおりに推移する保証もありません。

業績予想に際しては、予想時点の状況を基として予想期間における当社グループに関連する情勢を加味しておりますが、業績予想は実際の業績を保証するものではありません。実際の業績は、その後の情勢の変化等に伴い予想と乖離することがあります。その場合は、業績見込みの見直しを行い、その結果、業績予想の修正が必要と判断したときには速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和7年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,976	15,267
受取手形及び売掛金	8,512	8,313
電子記録債権	6,304	6,010
棚卸資産	12,021	12,109
その他	253	356
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	43,053	42,042
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,039	8,024
その他（純額）	8,175	8,850
有形固定資産合計	16,214	16,874
無形固定資産		
その他	136	125
無形固定資産合計	136	125
投資その他の資産		
その他	10,446	10,994
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	10,437	10,986
固定資産合計	26,788	27,987
資産合計	69,842	70,029
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,651	2,718
電子記録債務	5,155	4,901
短期借入金	536	536
未払法人税等	748	285
賞与引当金	429	175
その他	1,527	2,662
流動負債合計	11,049	11,278
固定負債		
長期借入金	1,470	1,461
役員株式報酬引当金	46	54
退職給付に係る負債	170	172
その他	1,533	1,631
固定負債合計	3,220	3,318
負債合計	14,269	14,597

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和7年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,360	7,360
資本剰余金	7,149	7,149
利益剰余金	39,261	39,129
自己株式	△801	△798
株主資本合計	52,970	52,841
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,533	1,560
為替換算調整勘定	905	873
退職給付に係る調整累計額	105	100
その他の包括利益累計額合計	2,544	2,534
非支配株主持分	57	56
純資産合計	55,572	55,432
負債純資産合計	69,842	70,029

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)
売上高	11,446	10,966
売上原価	8,601	8,356
売上総利益	2,845	2,609
販売費及び一般管理費	1,434	1,527
営業利益	1,410	1,082
営業外収益		
受取利息	3	10
受取配当金	63	100
持分法による投資利益	40	58
為替差益	43	—
その他	16	17
営業外収益合計	168	186
営業外費用		
支払利息	3	6
為替差損	—	13
その他	9	3
営業外費用合計	13	23
経常利益	1,565	1,245
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,565	1,245
法人税、住民税及び事業税	325	264
法人税等調整額	154	120
法人税等合計	479	384
四半期純利益	1,086	860
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,086	860

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)
四半期純利益	1,086	860
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67	27
為替換算調整勘定	80	△39
退職給付に係る調整額	△9	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	30	5
その他の包括利益合計	169	△11
四半期包括利益	1,255	849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,251	851
非支配株主に係る四半期包括利益	3	△1

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当第1四半期連結累計期間（自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第1四半期連結累計期間（自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日）

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	インドネシア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,919	526	11,446	—	11,446
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,919	526	11,446	—	11,446
セグメント利益	1,389	21	1,410	0	1,410

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	インドネシア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,553	413	10,966	—	10,966
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,553	413	10,966	—	10,966
セグメント利益又は損失(△)	1,086	△4	1,082	0	1,082

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)
減価償却費	254百万円	265百万円

<参考資料>

令和7年7月31日
モリ工業株式会社

令和8年3月期 第1四半期 決算発表

1. 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 R7.3.末	当四半期末 R7.6.末	増減		前期末 R7.3.末	当四半期末 R7.6.末	増減
流動資産	43,053	42,042	△1,011	流動負債	11,049	11,278	229
現金及び預金	15,976	15,267	△709	支払手形及び買掛金	7,806	7,619	△187
受取手形及び売掛金	14,816	14,323	△493	短期借入金	536	536	—
棚卸資産	12,021	12,109	88	未払法人税等	748	285	△463
その他	237	341	104	賞与引当金	429	175	△254
				その他	1,527	2,662	1,135
固定資産	26,788	27,987	1,199	固定負債	3,220	3,318	98
有形固定資産	16,214	16,874	660	長期借入金	1,470	1,461	△9
土地	8,039	8,024	△15	役員株式報酬引当金	46	54	8
その他	8,175	8,850	675	繰延税金負債	1,017	1,147	130
				その他	686	655	△31
無形固定資産	136	125	△11	負債合計	14,269	14,597	328
投資その他の資産	10,437	10,986	549	純資産	55,572	55,432	△140
投資有価証券	7,068	7,583	515	株主資本	52,970	52,841	△129
退職給付に係る資産	1,701	1,708	7	資本金・資本剰余金	14,509	14,509	—
その他	1,667	1,694	27	利益剰余金	39,261	39,129	△132
				自己株式	△801	△798	3
				その他の包括利益累計額	2,544	2,534	△10
				非支配株主持分	57	56	△1
資産合計	69,842	70,029	187	負債・純資産合計	69,842	70,029	187

2. 棚卸資産回転月数(期末棚卸資産÷累計期間の月平均売上高)

(単位：月)

	前第1四半期	当第1四半期	増減
棚卸資産回転月数	3.11	3.31	0.20

3. 有形固定資産の増減内訳

(単位：百万円)

有形固定資産の増減	設備投資	減価償却	その他処分等	為替換算増減
660	948	255	△1	△34
日本 (708)	(948)	(230)	(10)	(—)
インドネシア (△48)	(0)	(25)	(△11)	(△34)

4. 実質有利子負債の比較

(単位：百万円)

	前期末 R7.3.末	当四半期末 R7.6.末	増減
有利子負債 ①	2,018	2,007	△11
現預金等換金性のもの ②	15,976	15,267	△709
実質有利子負債 ①－②	△13,958	△13,260	698

5. 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期 R6.4-R6.6	百分比 %	当第1四半期 R7.4-R7.6	百分比 %	増減
売上高	11,446	100.0	10,966	100.0	△480
売上原価	8,601	75.1	8,356	76.2	△245
売上総利益	2,845	24.9	2,609	23.8	△236
販売費及び一般管理費	1,434	12.5	1,527	13.9	93
営業利益	1,410	12.3	1,082	9.9	△328
営業外収益	168	1.5	186	1.7	18
受取利息	3		10		
受取配当金	63		100		
持分法投資利益	40		58		
為替差益	43		—		
その他	16		17		
営業外費用	13	0.1	23	0.2	10
支払利息	3		6		
為替差損	—		13		
その他	9		3		
経常利益	1,565	13.7	1,245	11.4	△320
特別損失	0	0.0	0	0.0	△0
固定資産除却損	0		0		
税引前四半期純利益	1,565	13.7	1,245	11.4	△320
法人税等	479	4.2	384	3.5	△95
非支配株主に帰属する四半期純利益	△0	△0.0	0	0.0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,086	9.5	860	7.9	△226

6. 当第1四半期の経常利益増減要因(前第1四半期対比)

(単位：百万円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 受取配当金の増加	37	1. 生産金額（量・価格を含む）の減少	△278
2. 棚卸評価差損益	14	2. 変動費率の増加	△35
3. その他	108	3. 固定費の増加	△110
		4. 為替差損益	△56
計	159	計	△479
		差引	△320